５．試験・成績

〇試験

試験期間は下記の通りです。

①前期試験‥‥７月下旬

②後期試験‥‥１月下旬

試験の時間割は、試験開始の１週間前に掲示にて発表します。この試験時間割は、掲示で発表されてからも訂正、変更がある場合がありますので、随時確認するようにしてください。

また、通常授業内にて試験を実施される科目の場合は、授業中に担当者より指示され、掲示の連絡がない場合がありますので注意してください。

試験の方法は授業科目によって異なり、筆記試験、口述試験、実技試験、論文・レポート等課題提出、並びに平常の成績等で行います。

〇受験資格

次のいずれかに該当する場合は、定期試験を受ける資格を失います。

①授業科目の履修登録をしていないとき。

②定められた納付金について、滞納があるとき。

③履修している授業科目の出席回数が、実授業数の３分の２に満たないとき。（６回以上欠席した者）

※上記の該当者が受験しても、単位は認められません。

〇受験上の注意

（１）筆記試験

①席順

・着席の順番は、教壇に向かって左前列から後方へ学籍番号順とし、左右を一席分空けます。

②学生証の提示

・学生証を机の上の見えやすい位置に置きます。忘れた者は、すぐに学生支援課へ行き、仮学生証を発行してください。

③持ち物について

・机の上には、持ち込み許可がある場合を除き、学生証、筆記用具、消しゴム、時計以外は置かないでください。
・荷物はすべてふたの閉まるバック等に入れ、資料等が見えないようにしてください。（机の中にテキストやノートを置かない）
・学生同士の物品の貸し借りは禁止です。
・携帯電話のスイッチは切り、バックにいれてください。２回以上呼び出し音が鳴った場合は、不正行為とみなします。
・腕時計型携帯情報端末（スマートウォッチ、アップルウォッチ等）の使用は、不正行為とみなします。

④不正行為について

・カンニング等の不正行為を行った場合、その期の全科目を０点とし、相応の処分がなされます。

⑤試験時間の入・退出について

・試験に遅れた場合、試験開始後１５分以内に限り受験を認めます。

・試験開始後、２０分を過ぎたら退出してもかまいませんが、２０分以内の退出は「試験放棄」とみなします。

⑥その他

・試験中は、試験監督の指示に従ってください。

（２）レポート試験

①黒のペンまたはボールペンを使用してください。カラーインク、鉛筆は認められません。

②表紙を１枚つけ、必要事項を記入してください。

［題名・授業科目名・担当者名・学科・クラス・学籍番号・氏名］

③ホッチキスは、横書きの場合は上に２ヶ所、縦書きの場合は右に２ヶ所綴じてください。

④提出先を間違えないように気をつけてください。

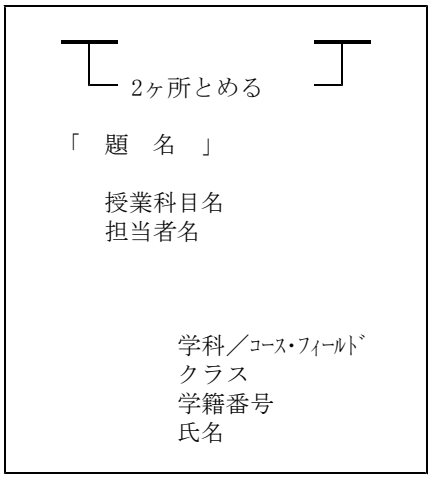
・提出先が担当教員の場合は、提出方法を担当教員に確認しておいてください。

・レポートＢＯＸは、本館１階階段横に設置します。

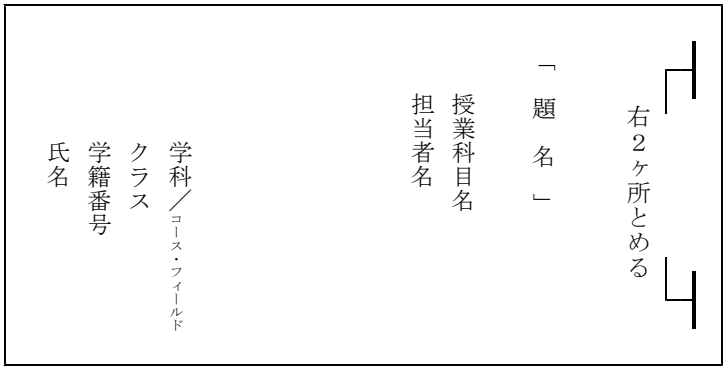
⑤提出期限(日時)・提出先、及び上記の事項が１つでも守られていない場合は受け付けられません。

【表紙記入例】

横書きの場合



縦書きの場合



〇成績発表

定期試験の結果は掲示板にて発表します。掲示される内容は、各科目別の、追試験・再試験対象者、受験資格喪失者、放棄者の学籍番号です。必ず自分で確認し、学生支援課で手続きをしてください。成績表については、各翌期の履修登録時に渡します。

〇追試験

病気・忌引・進学就職試験等やむを得ない理由により、定期試験を受けられない学生は、教授会で認められた場合、追試験を受けることができます。追試験を受ける場合は、所定の追試験願書を提出してください。また、事前に欠席届・証明書等を学生支援課へ提出してください。

追試験は定期試験終了後に期日を決めて１回限り行います。追試験の期日は、掲示にて発表します。評価は通常の試験と同様に行われます。

〇再試験

定期試験不合格者および、未受験者について教授会で認められた場合、１回限り実施します。再試験を受ける場合、試験前日までに所定の再試験願書に受験料（1科目につき1,500円）を添えて学生支援課に提出してください。

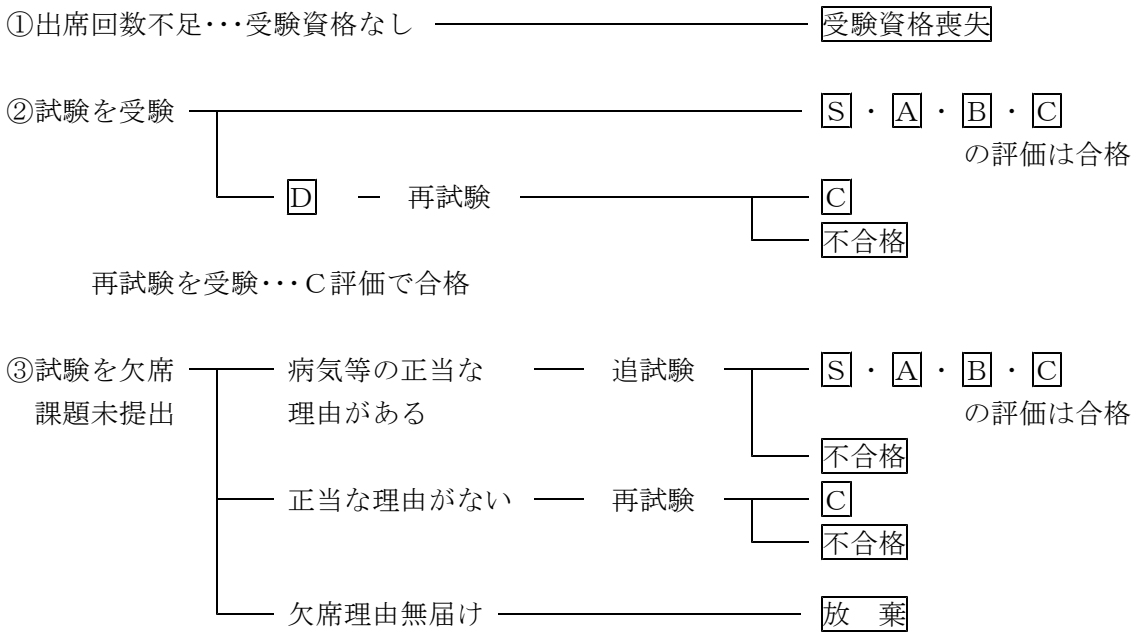
再試験の日程は、掲示にて発表します。再試験で合格した場合の評価はＣとなります。

〇成績評価

評　　価	判　定
Ｓ　（ ９０ ～ １００ ）	合　格
Ａ　（ ８０ ～　８９ ）	
Ｂ　（ ７０ ～　７９ ）	
Ｃ　（ ６０ ～　６９ ）	
Ｄ　（ ５９ 以下 ）	不合格

※「**受験資格喪失**」（出席不足）および「**放棄**」（試験の欠席やﾚﾎﾟｰﾄ等の課題未提出）は、合否判定の対象外（失格）です。

〇評価の流れ



※欠席理由無届け者は受験の意思がないため再試験の受験対象者ではありません。

※試験には、レポート試験・授業内試験を含みます。

○再履修

卒業や資格取得に必要な科目の単位が認められなかった場合、当該学科担当者の指示を受けて再履修しなければなりません。すぐに学生支援課に相談してください。

○ＧＰＡ

・GPAとは
Grade Point Averageといって、授業科目ごとの成績評価を、例えば５段階（A、B、C、D、E）で評価し、それぞれに対して、４・３・２・１・０のようにグレード・ポイント（GP）を付与し、このポイントの平均を算出し、その平均点をもって評価する学習成果の評価方法です。

ＧＰＡは、セメスター（半期）ごとに計算し、各期末に配布する「個人成績一覧」に表記します。ＧＰＡを利用し成績が算出されることにより、セメスターごとの学修成果と推移が明確となり、各自の履修状況の確認が容易になります。なお、ＧＰＡ導入は2019年度からおこないます。

・各成績評価は以下のGP値で計算を行ないます。

評価	GP値
S：100-90	4
A：89-80	3
B：79-70	2
C：69-60	1
C：60（再試）	1
D：59以下	0
失（受験資格失格）	0
欠（試験欠席）	0
放（試験放棄）	0

GPA ＝（S評価の単位数×4)+(A評価の単位数×3)+(B評価の単位数×2)+（C価の単位数×1）／総履修単位合計

※「振」（単位振替科目)、「認」（単位認定科目）の科目は計算に含めません。また、再履修して修得した科目の不合格時の単位は総履修単位合計に含めません。
やむを得ず履修を取り消す場合は、履修登録変更期間内（前期4月下旬、後期9月下旬）で取り消し可能です。その際、取り消した科目は計算に含めません。

「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」により、学科ごとの「成績の分布状況の把握」の確認ができる。なお、本学は4学科設置しているが、概ね同様の取り扱いをしている。